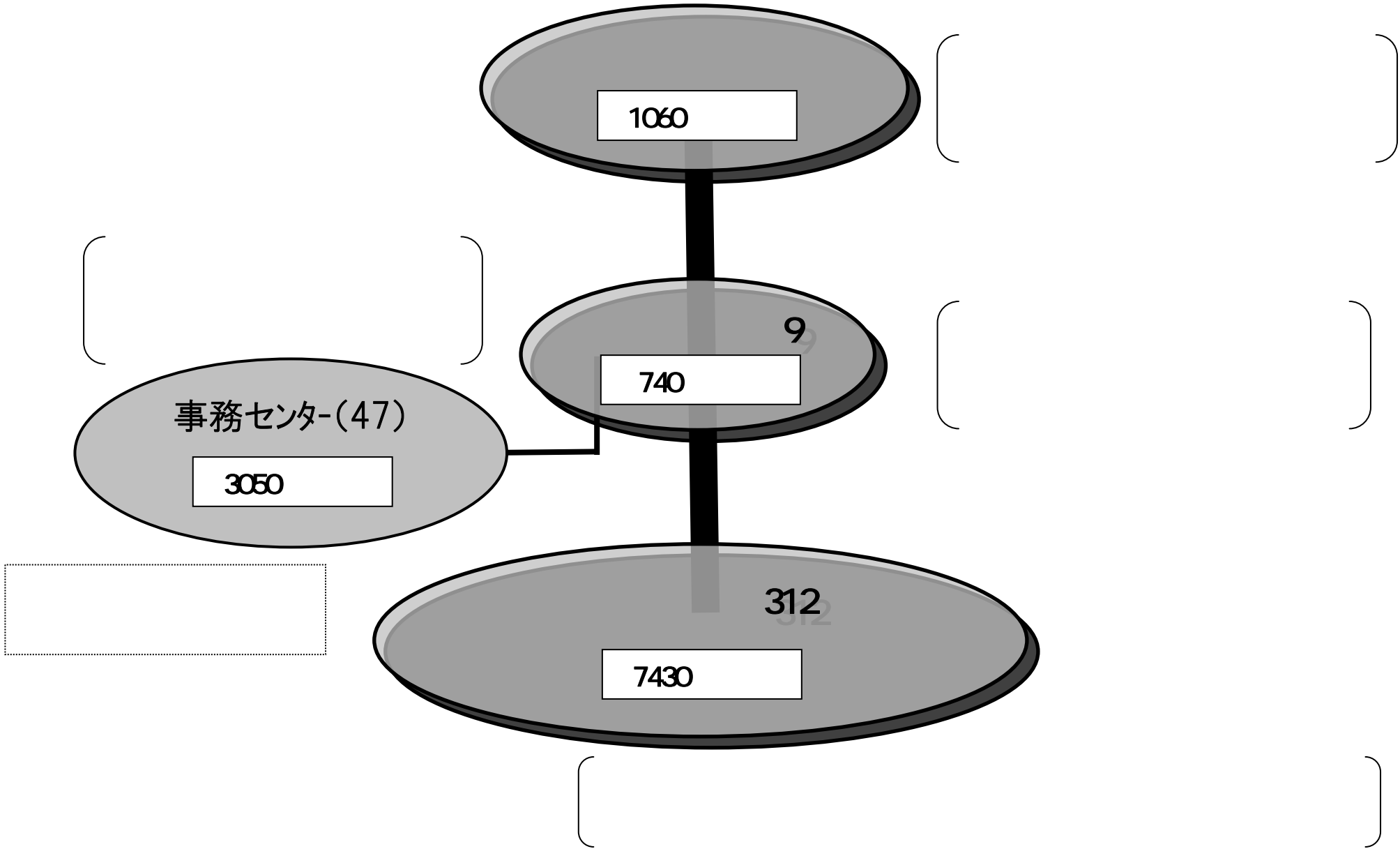




# 日本年金機構の組織の骨格（案）について

平成21年5月19日

1. 日本年金機構の組織の全体像	…	1
2. 年金記録問題への対応体制	…	2
3. ブロック本部について	…	5
4. リスク・コンプライアンス体制	…	6
5. 広報・広聴体制	…	7
6. システム部門の体制（機構設立時）	…	8
（参考1）組織の骨格（案）に関するこれまでの主な指摘事項について	…	9
（参考2）第5回設立委員会提出資料「日本年金機構の組織の骨格（案）」（抜粋）	…	10



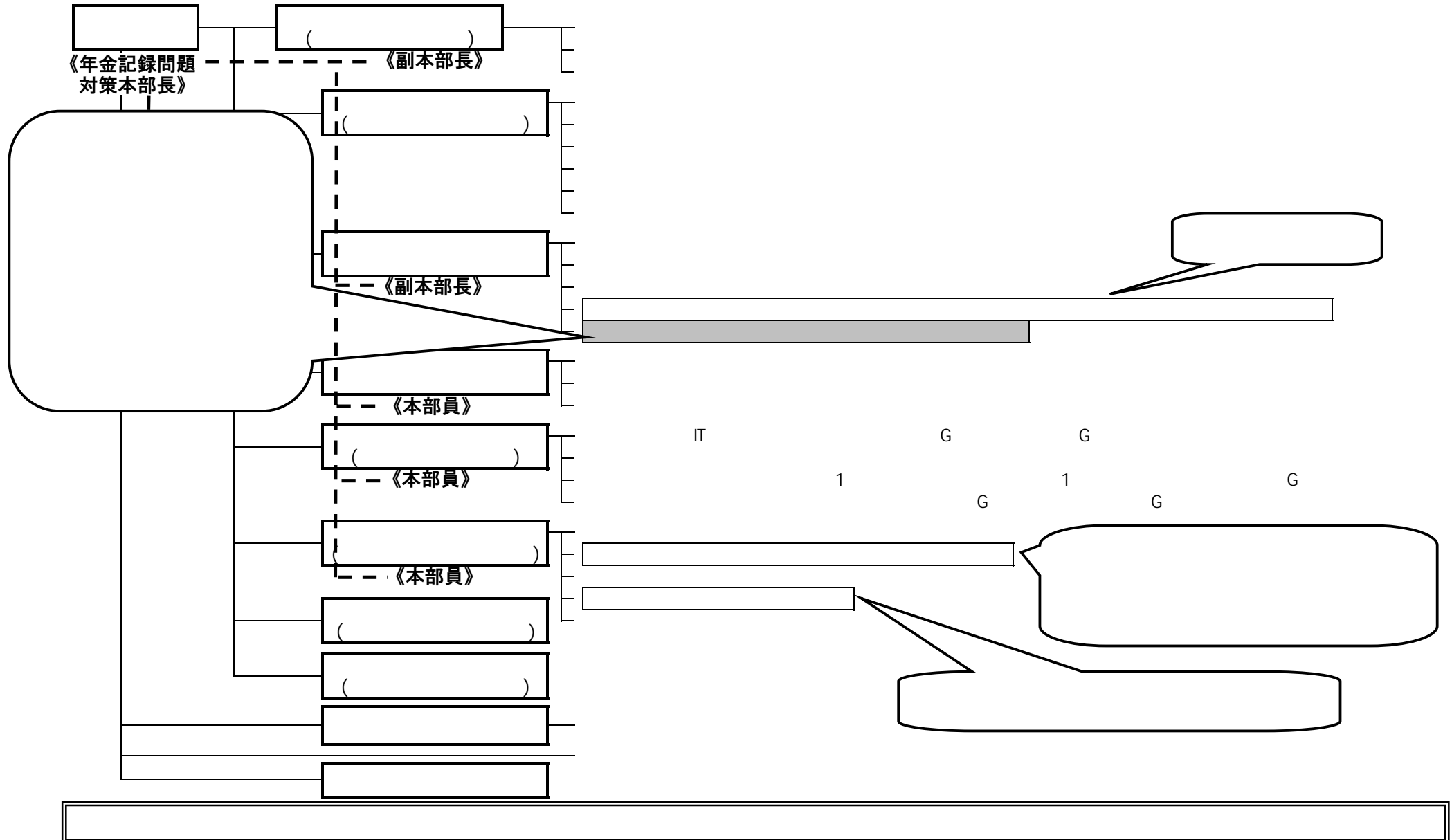
1  
2

1400

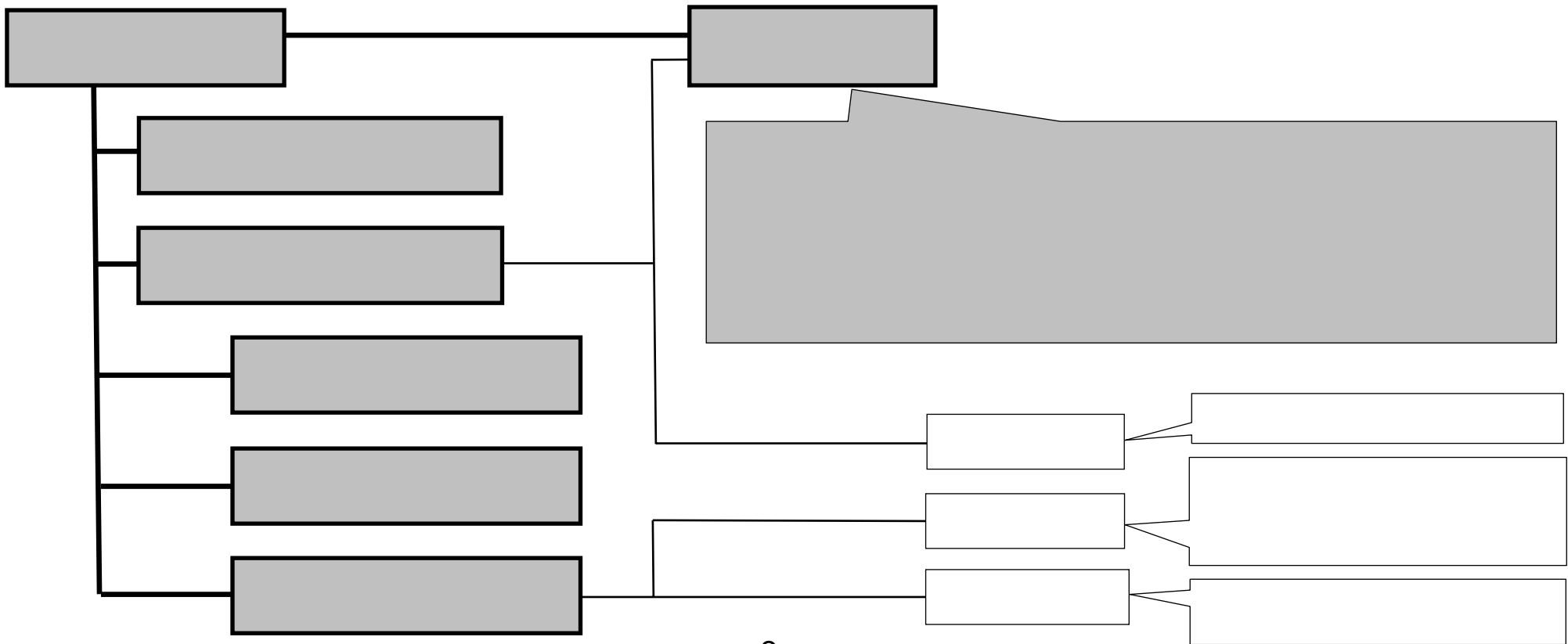
1

## 2. 年金記録問題への対応体制

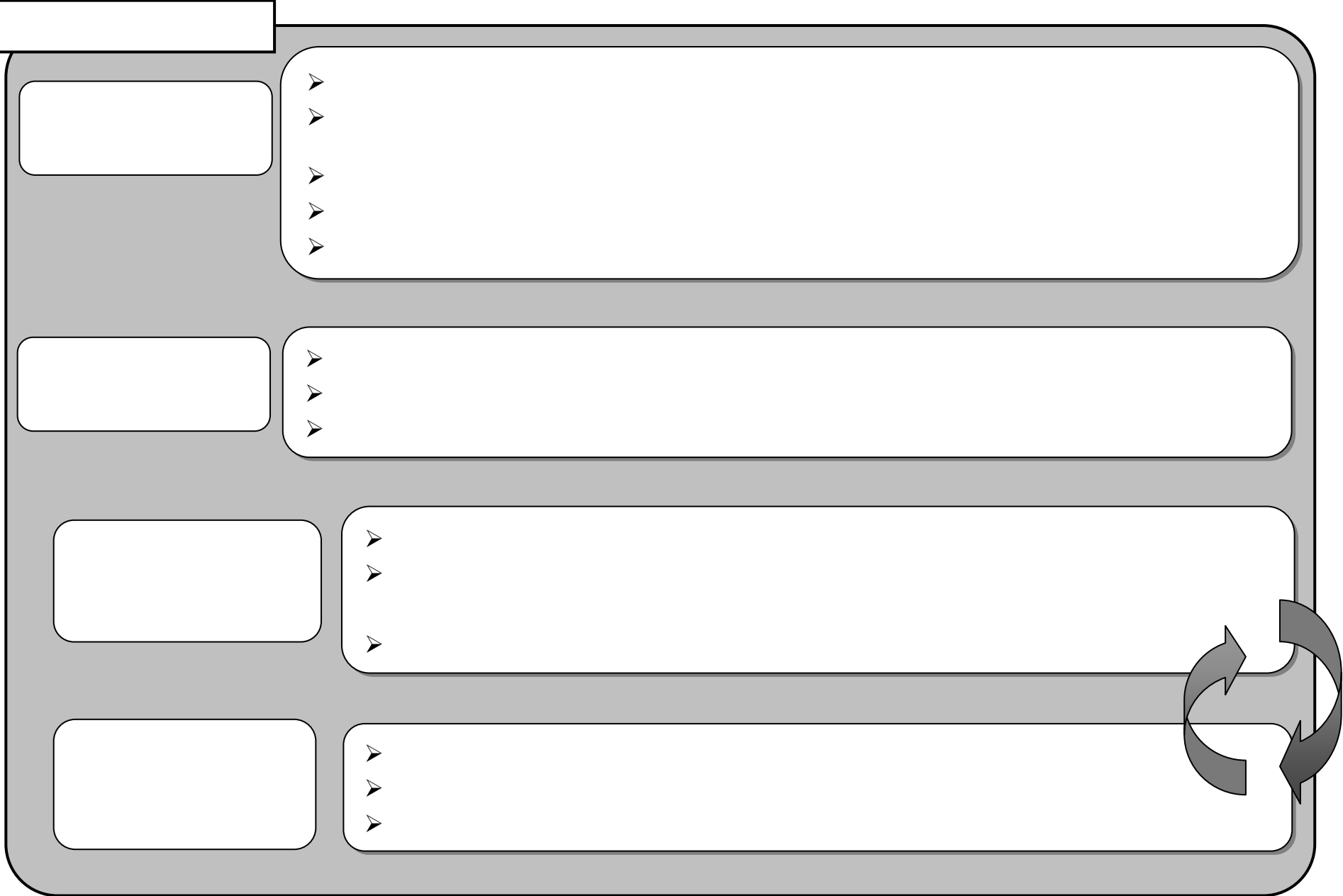
○日本年金機構に引き継がれることとなる年金記録問題に組織横断的に対応するため、理事長を本部長とし、関係部門の理事を副本部長及び本部員とする「年金記録問題対策本部」を設置。・・・（別図参照）



(別図)

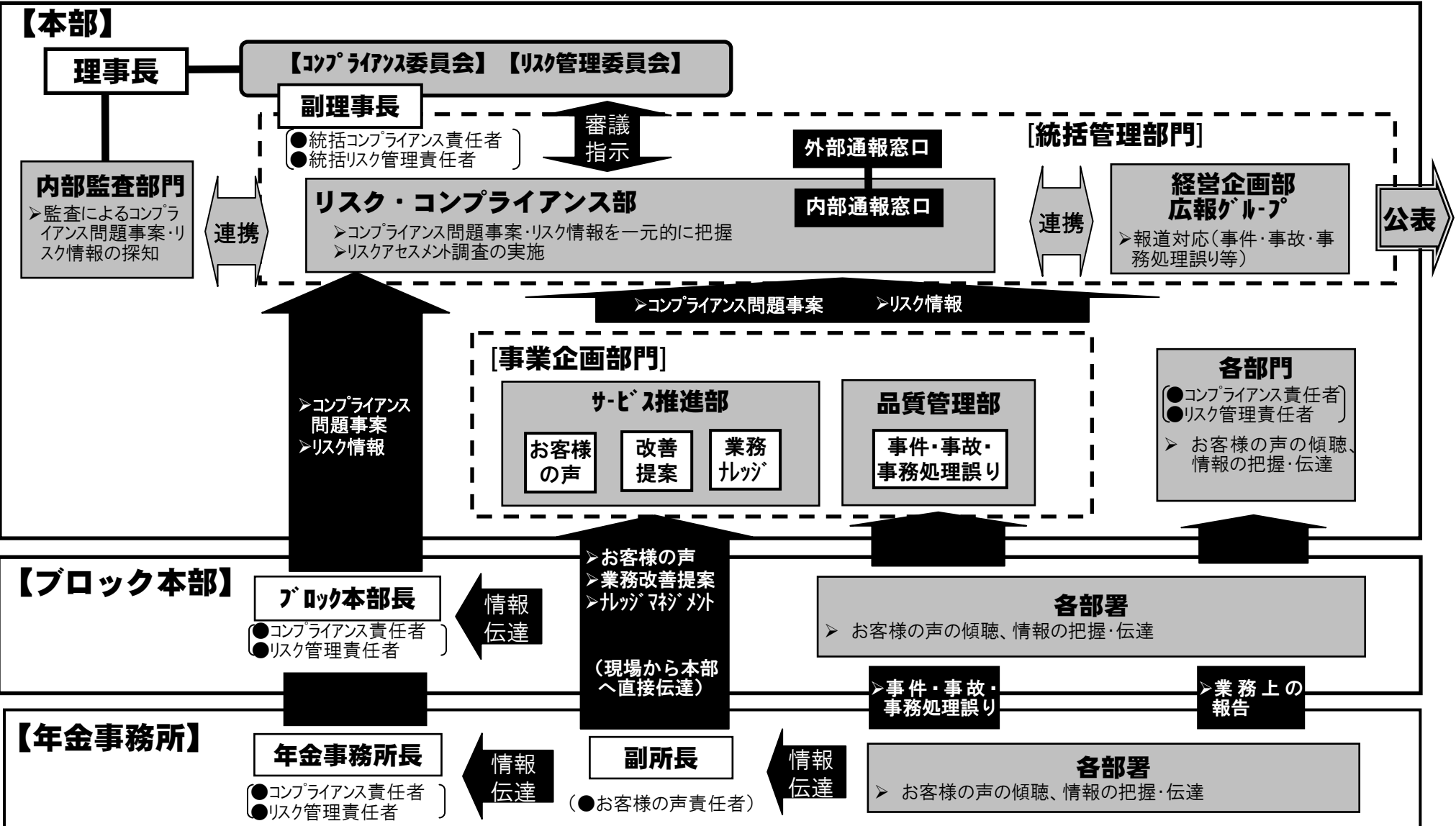


# (参考) 年金記録問題への対応体制の全体イメージ

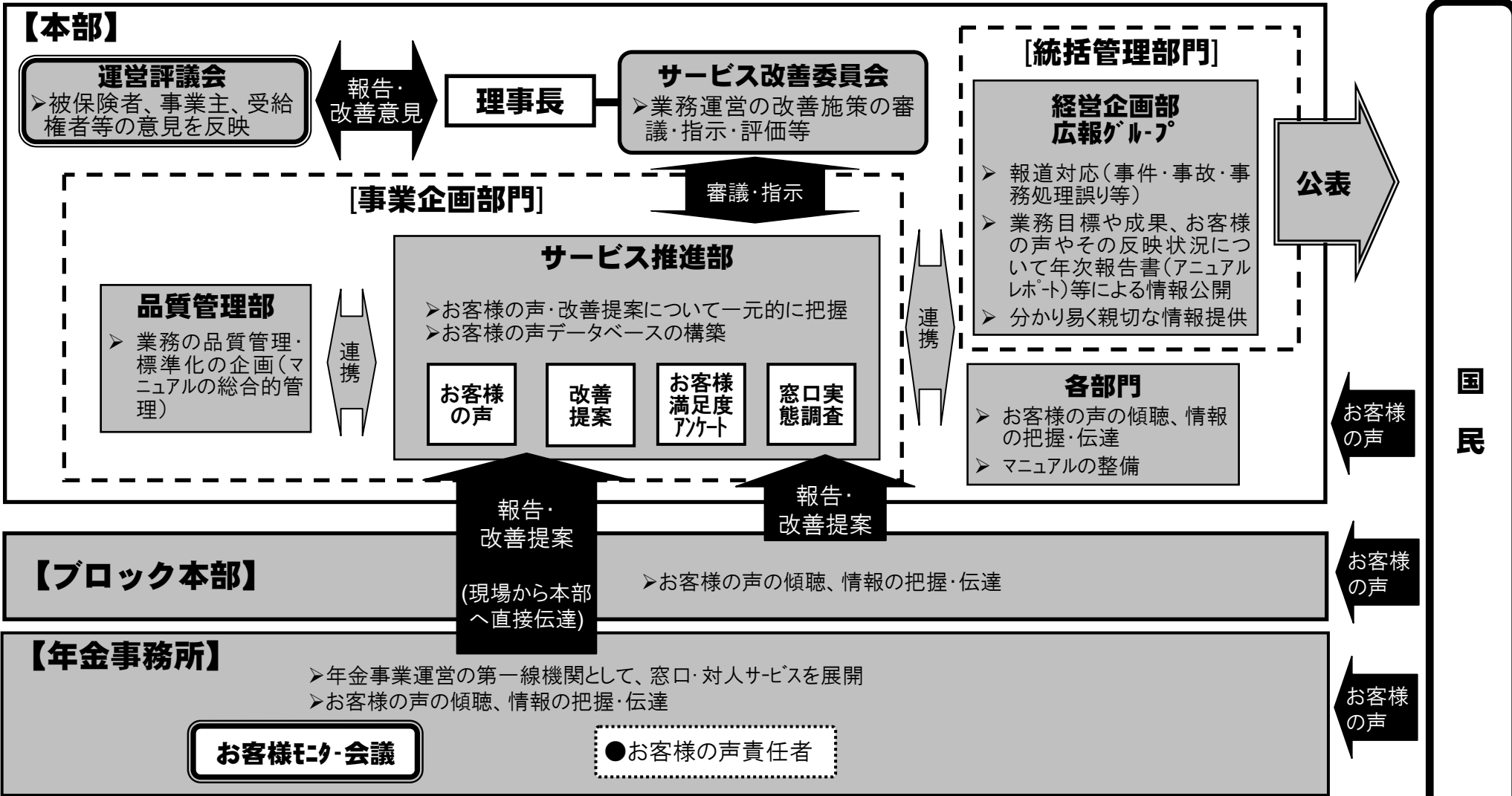


20 7 29

# 4. リスク・コンプライアンス体制

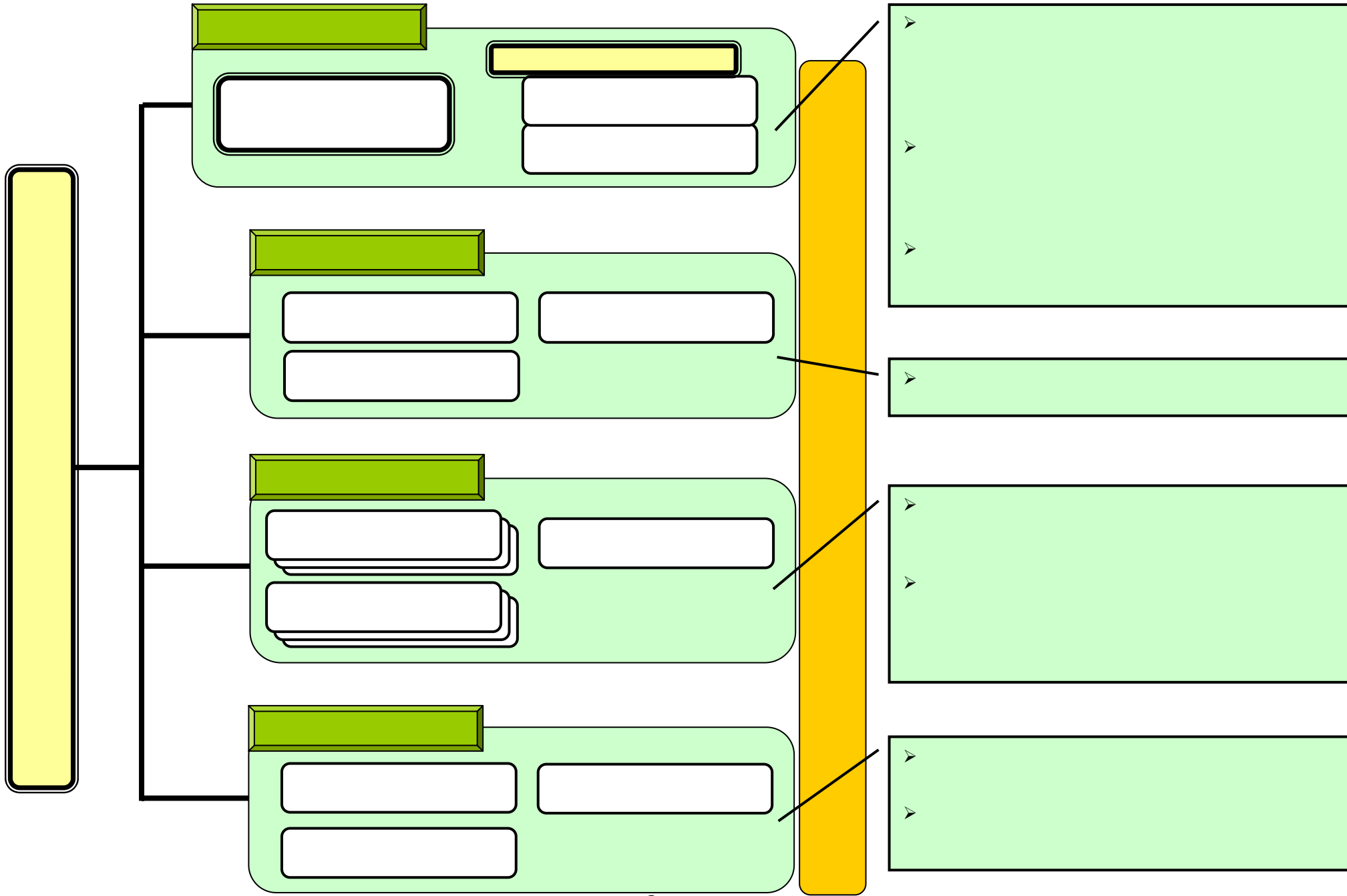


# 5. 広報・広聴体制





# 6. システム部門の体制（機構設立時）



## **(参考1) 組織の骨格(案)に関するこれまでの主な指摘事項について**

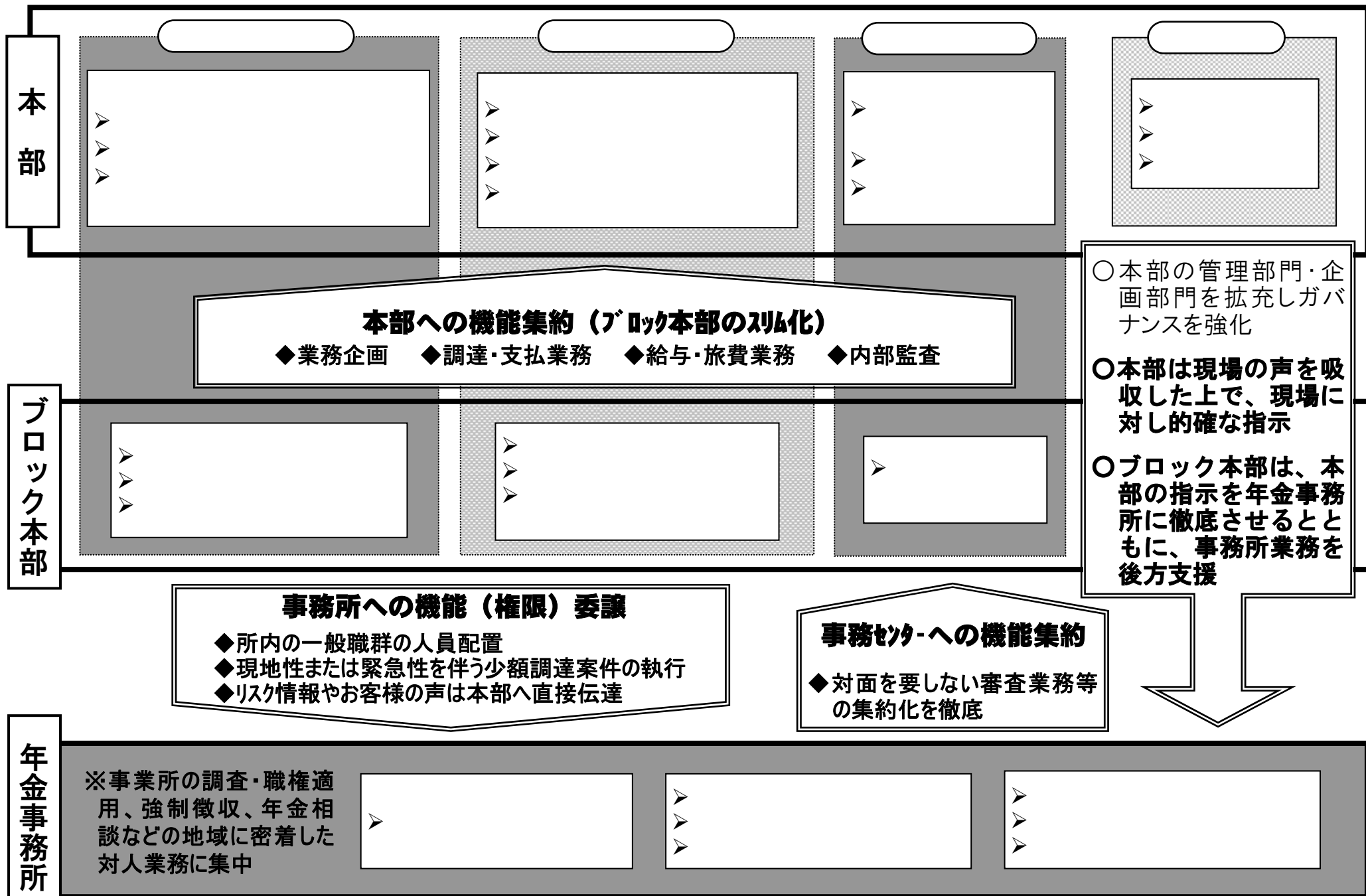
**第5回設立委員会（平成21年1月29日）提出資料  
「日本年金機構の組織の骨格（案）」（抜粋）**







# 【本部・ブロック本部・年金事務所の機能】



本部

ブロック本部

年金事務所

**本部への機能集約（ブロック本部の削減）**  
 ◆業務企画 ◆調達・支払業務 ◆給与・旅費業務 ◆内部監査

**事務所への機能（権限）委譲**  
 ◆所内の一般職群の人員配置  
 ◆現地性または緊急性を伴う少額調達案件の執行  
 ◆リスク情報やお客様の声は本部へ直接伝達

**事務センタ-への機能集約**  
 ◆対面を要しない審査業務等の集約化を徹底

- 本部の管理部門・企画部門を拡充しガバナンスを強化
- 本部は現場の声を吸収した上で、現場に対する的確な指示
- ブロック本部は、本部の指示を年金事務所に徹底させるとともに、事務所業務を後方支援

※事業所の調査・職権適用、強制徴収、年金相談などの地域に密着した対人業務に集中